第２０期（令和６年度）

事　業　報　告　書

佐久市社協イメージキャラクター 「さーくちゃん」

社会福祉法人　佐久市社会福祉協議会

目　次

1　事業総括　1

2　事業方針・重点目標に対する取り組み（総務課・福祉課）　2～5

3　事業実施報告（詳細）

事　業　名			ページ
法人運営部門			
	1	運営会議	6
	2	発展・強化（改善）計画策定委員会	6
	3	三役会議	6
	4	経理・財務	6
	5	労務・人事管理	7
	6	賃金の見直し	8
	7	職員採用	8
	8	職員研修	8
	9	防災訓練	8
	10	相談援助実習生の受け入れ	9
	11	職員の健康管理	9
	12	職員互助会	9
	13	佐久ブロック社協市町村事務局の活動	9
	14	DSAT（長野県内社協災害初動時における先遣チーム）	10
部会委員会			
	1	理事会	11
	2	評議員会	12
	3	他社会福祉協議会への役職員視察研修	13
	4	評議員選任・解任委員会	13
	5	事業及び会計の監査	13
社協会費活動			
	1	社協会費活動	14
啓発宣伝			
	1	社協ホームページ等の活用	14
	2	社協報広報「ぴーぷる」	14
	3	紙の門松	15
地域福祉部門（ボランティア活動の推進）			
	1	ボランティアの育成	16
	2	地域福祉講座	16
	3	さーくちゃんち（家）でごはんを食べよう	16
	4	災害ボランティア講座	16
	5	育児・介護¨助っ人¨養成講座	17
	6	安心コール事業	17
	7	お元気レター事業	17

事　業　名			ページ
地域福祉部門・相談支援部門（各種相談体制の充実）			
	1	生活福祉資金貸付事業＜県社協受託事業＞	18
	2	緊急小口資金等特例貸付実施後の相談支援体制強化事業＜県社協補助事業＞	18
	3	日常生活自立支援事業＜県社協受託事業＞	18
	4	生活困窮者自立支援事業＜市受託事業＞「まいさぽ佐久市」	18
	5	家計改善支援事業＜市受託事業＞	19
	6	さく成年後見支援センター運営事業＜広域連合受託事業＞	19
	7	結婚相談事業・婚活イベント	19
地域福祉部門（地域福祉活動の推進）			
	1	ふれあいいきいきサロン事業（世話人交流会事業含む）	21
	2	ファミリーサポート事業「ほっと・ホット」（育児支援）	22
	3	介護´助っ人´事業（介護支援）	22
	4	敬老会助成事業（総務課）	22
	5	佐久市社会福祉大会（総務課）	23
	6	佐久ふれあい広場	23
	7	佐久市地域福祉活動計画策定評価事業	23
	8	フードドライブ事業	24
	9	地区社会福祉協議会活動の支援並びに助成事業	24
	10	希望の旅事業	24
	11	共同募金の募集推進及び配分金の効果的活用（総務課）	25
	12	高齢者緊急時連絡票の配布	27
	13	ひとり暮らし高齢者等見守り事業＜市受託事業＞	27
	14	佐久圏域みらい福祉創造事業（休眠預金活用事業）	27
	15	バリアフリーマップ事業	28
地域福祉部門（福祉教育事業の充実）			
	1	社会福祉普及校事業（福祉体験教室・福祉教材用DVD貸出）	29
地域福祉部門（団体事務）			
	1	日本赤十字社長野県支部佐久市地区	30
	2	佐久市赤十字奉仕団	30
	3	佐久市シニアクラブ連合会	30
	4	佐久市戦没者遺族会	31
施設管理・運営部門			
	1	佐久市福祉総合センター	32
	2	佐久市老人福祉センター「長寿閣」	32
	3	佐久市臼田老人福祉センター	32
	4	佐久市臼田総合福祉センターあいとぴあ臼田	32
	5	浅科保健センター	33
	6	佐久市望月老人福祉センター	33

事　業　名			ページ
介護保険・障害福祉部門			
	1	佐久市あいとぴあ臼田デイサービスセンター	34
	2	佐久市浅科デイサービスセンター	34
	3	就労継続支援B型　臼田共同作業センター	35
	4	就労継続支援B型　浅科ふれあいホーム	36
	5	佐久市社協特定相談支援事業所	37
	6	佐久市社協多機能型事業所くれよん	37

1 事 業 総 括

近年、少子高齢化の進展により人口減少社会を迎え、核家族化、世帯人数の減少等の変化から住民間の結びつきの希薄化が問題となっており、市民の抱える問題の多様化、それにともなう福祉ニーズの複雑化が進んでいます。さらに、物価高騰が社会問題化したいま、生活困窮等の課題が顕在化してきています。

このような状況のなか、佐久市社会福祉協議会は地域福祉の中心的担い手として、市民の皆様の声に耳を傾けながら、社会課題の変化に応じた支援の新たな姿を模索してまいりました。

理事、評議員、社協職員を対象とした他社協への視察研修を実施し、先進的な取組みについて学んだほか、共通する課題について再認識することができました。

また、「地域福祉係」、「さく成年後見支援センター」、「生活就労支援センターまいさぽ佐久市」に分かれていた相談支援業務を、「相談支援係」に集約することで、連携強化や情報共有の促進が図られ、包括的な支援体制の構築を行うことができました。

介護保険・障害福祉部門では、平成６年４月から佐久市より受託した「佐久市浅科デイサービスセンター」の指定管理業務を令和７年３月３１日をもって終了しました。

一方で、令和２年度に策定した「第一次　佐久市社会福祉協議会　発展・強化（改善）計画」（Ｒ３～Ｒ７）に基づいて、地域福祉事業や介護・障害福祉サービス事業の展開をはかるとともに適切な法人運営に努め、全国的な介護・福祉の人材不足も踏まえた上で、令和８年度からの第二次計画に向けて、事業の実施状況や今後の展開等について検討を重ねた１年となりました。

今後も、社会経済情勢が大きく変化する中で、地域福祉の充実と課題解決に努め、市民の皆様から必要とされる社会福祉協議会を目指して事業を推進してまいります。

2 事業方針・重点目標に対する取り組み

法人運営（総務課）

1 法人運営の強化

社会福祉法人として、適切な法人運営を目指し、諸規定の見直しと改正を行なうとともに、財務管理や労務、人事管理も含めた各部門の総合的な調整、組織管理に取り組みました。

（1）本会発展・強化（改善）計画に沿った具体的な事業展開

令和３年度から令和７年度までの「佐久市社会福祉協議会　第一次発展・強化（改善）計画」の進行管理を行うとともに、令和８年度に策定する第二次計画の策定に向けて令和５年度までの事業評価と、令和８年度からの事業展開について策定委員会を開催しました。

（2）職員の資質向上及び人材育成

各事業等で必須となる資格や研修を計画的に実施しました。令和４年度試験的に導入した「人事評価」を本格運用させるため、自己評価や上司による面談を実施しました。また、福祉職場としてのキャリアアップのため、長野県社会福祉協議会が実施する福祉職員生涯研修にも計画的に参加しました。

（3）社協の見える化・見せる化の推進

広報誌「ぴーぷる」の編集委員会を職員で編成し、市民の方が興味・関心・親近感を持って、見て読んでいただける社協報にするには、どうしたらいいのか検討し、記事の掲載を心がけました。令和６年度７月号より４ページのフルカラーに変更し、読みやすい紙面となるよう工夫しました。

（4）人材育成支援

将来の福祉人材の育成のため、実習生の受け入れを行いました。

2 事業実施の財源確保

（1）財源確保と事業の見直し

経営についての研修会に参加し、全国的な取組みの確認や、収支バランスから見る本会の経営状況について分析を行いました。全国的には介護保険等の事業が減り、委託事業が増加している状況にありますが、それも踏まえて今後の本会の方針につ

いて検討を重ねました。また、社会保険適用拡大に対応するにあたり、助成金の活用の検討を行うなど財源確保にも取り組み、経営の強化を図りました。

（２）社協会費と共同募金の使途の丁寧な説明

社協会費と共同募金は、社協が地域福祉活動を進めていくための貴重な自主財源です。年々減少傾向である社協会費と共同募金が増加に繋がるよう、地域で暮らす市民の皆様からご協力いただいた会費や募金がどのように使われているかを見える化するため、広報誌「ぴーぷる」やホームページで紹介しました。また、赤十字奉仕団の分団長を対象に説明会を開催したほか、戸別訪問していただく役員の皆さんに負担にならないよう資料やパンフレット等の削減を行いました。

地域福祉の推進（福祉課）

1　ファミリーサポート事業「ほっと・ホット」（育児支援）

子育ての手助けをして欲しい人と、子育てのお手伝いをしたい人が登録し、育児支援が必要な家庭に対し支援会員が有償で支援しました。支援内容は、一時預かり、家事援助、沐浴のお手伝い等といったニーズがあり、育児支援会員の協力により、乳幼児一時預かり事業を開催し、９名の子どもの利用がありました。

2　ふれあいいきいきサロン事業の充実（世話人交流会事業含む）

高齢者等の閉じこもりや認知症予防等を目的に、地区の集会施設等を利用して区単位でサロン（お茶のみ会）を開催していただきました。また、本会では「サロン体験会」を開催し、サロンでの行政の役割や本会の役割並びに補助金申請から交付までの流れについて説明しました。各地区でのサロン活動再開に向けた取り組みにあたり、世話人とともに情報交換をしながら事業推進に努めました。

3　ボランティアセンター事業の充実

ボランティアセンターでは、活動に関する相談や情報提供、活動先の紹介を行うことを目的に、ボランティアコーディネーターが、ボランティア活動の啓発やきっかけづくり、また、ボランティア活動に関する相談と受付手続き等を行いました。

また、「さーくちゃんち（家）でごはんを食べよう」を開催し、子どもから高齢者の幅広い年齢層の方にご参加いただき、食育などを通じて、地域の人々の「支え愛」「助け愛」の輪を広げることが出来ました。

4　第四次佐久市地域福祉計画に基づく事業の推進

第三次計画の計画期間満了に伴い、地域福祉を取り巻く環境の変化に対応する計画を立案し、地域福祉活動の一層の推進を図ることが求められていることから、新たに第四次佐久市地域福祉計画・佐久市地域福祉活動計画を策定し、同計画に基づく事業・活動を展開してきました。

5　地区社会福祉協議会事業の充実

市内７地区に地区社会福祉協議会を設置し、自分たちの生活する地域の生活・福祉課題や困りごとを自分たち自身の問題と受け止め、関係機関などと連携・協働しながら、解決に向けて一緒に考え、学び合いに努めました。

6　断らない相談支援の充実

（１）生活困窮、高齢者、障がい、子どもなど、内容を問わず相談を受け入れるため、令和６年度より、新たに「相談支援係」を組織し、体制を整備しました。

（２）複合的な課題のある相談については、本会だけで抱え込まず、各関係機関とのネットワークを活用することで、適切な支援を提供できるように取り組みました。

（３）「フードドライブ事業」を実施し、困窮家庭等への食糧支援を行いました。

（４）結婚相談事業では、６名の相談員が、登録者に対し親身になって相談に応じ、希望に沿って見合いの場の設定を行いました。

介護保険・障害福祉サービス（在宅サービス係）

1　介護保険事業

（１）佐久市あいとぴあ臼田デイサービスセンター

令和７年３月に市の指定管理期間が満了となるため、令和７年４月から令和12年３月までの５年間の更新申請を行いました。日々の活動では、認知症予防に効果がある「ぬり絵」、「川柳大会」、「編み物」等を行いました。また、事業所ならではの手作り昼食として、「世界の料理」を毎月提供しました。

（２）佐久市浅科デイサービスセンター

令和７年３月をもって市の指定管理受託終了が決定したため、関係機関との連携を図り、令和７年２月末で全利用者の他事業所への移行が終了しました。また、「出張理美容サービス」、「移動販売車での買い物」、「大学生のボランティアの受入れ」等を行いました。

新型コロナウイルス感染症も５類にはなりましたが、感染者が出ると、まん延する傾向があるため、引き続き感染予防並びに感染対策を徹底しました。

また、常に職員は笑顔を意識して利用者に接し、それぞれのペースを大切にし、楽しい雰囲気で過ごせるよう心がけ、心のこもったサービスを提供しました。

２ 障害福祉サービス

（１）就労継続支援Ｂ型事業所　臼田共同作業センター、浅科ふれあいホーム

利用者の就労意欲が高まるよう、利用者にあった作業の開拓、新たな自主製品の開発、施設外就労等の創意工夫に努め、利用者のニーズに応じた支援を行いました。

（２）佐久市社協特定相談事業所

関係機関や各事業所と連携を図りながら必要な支援が受けられるよう、調整及び代行で申請等を行い、共に考えながら寄り添える支援を行いました。

（３）佐久市社協多機能型事業所くれよん

ア　生活介護

季節に合わせた行事を取り入れながら利用者の特性や好きな事に目を向け、楽しいと感じる事が出来る活動を継続的に行いました。また、空き缶の回収作業を通じて得たお金で、自分の欲しい物を自分で選んで買う体験をしたり、ご本人の持っている力を引き出す活動を継続して行いました。

イ　放課後等デイサービス

特性に合わせ静かにクールダウンする場所を確保したり、身体を動かす遊びを多く導入したり、支援に努めました。長期の休暇等では、地域の方からの寄付による鱒をプールに放して鱒つかみをしたり、作業所と一緒に芋ほり体験を行いました。家族に安心して選んでいただける施設となるよう、SNS の活用、毎月のお便り発行、アンケート調査を行い、その結果を日々の活動に活かしています。また、職員のスキルアップと支援の統一を図る為に事例検討を行いました。

事業実施報告（詳細）

法人運営部門

1　運営会議

毎月１回、会長、事務局長、各課長、各係長（支所長）が出席し、経営状況の把握と対策について協議しました。

（開催日）計 12 回（R5：13 回開催）

4 月 8 日（月）、5 月 7 日（火）、6 月 10 日（月）、7 月 8 日（月）、
8 月 5 日（月）、9 月 9 日（月）、10 月 15 日（火）、11 月 11 日（月）、
12 月 9 日（月）、令和 7 年 1 月 6 日（月）、2 月 14 日（金）、3 月 10 日（月）

（主な議題）

・人事評価の実施について
・介護保険事業所・障害福祉サービス事業所の状況について
・第二次発展・強化（改善）計画について
・職員採用試験について
・職員研修について
・管理者会議の報告

2　発展・強化（改善）計画策定委員会

変化する時代に対応しながら将来にわたって健全な法人運営を図るため、令和 3 年度から令和 7 年度までの「佐久市社会福祉協議会　第一次発展・強化（改善）計画」を策定しています。令和 8 年度に策定する第二次計画の策定に向けて令和 5 年度までの事業評価と、令和 8 年度からの事業展開について策定委員会を開催しました。

（開催日）9 月 17 日（火）、11 月 26 日（火）、令和 7 年 1 月 21 日（火）、
2 月 25 日（火）

3　三役会議

定期的に会長、事務局長、福祉課長が出席し、本会の方針等について協議しました。

（開催日）4 月 19 日（金）、5 月 27 日（月）、7 月 29 日（月）、
令和 7 年 1 月 28 日（火）、2 月 10 日（月）

4　経理・財務

（１）顧問税理士との業務委託契約

契約先：エイワ税理士法人
契約額：月額 16,500 円、決算業務時 55,000 円

（２）インボイス制度・電子帳簿保存法の対応

インボイス制度、電子帳簿保存法の開始に伴い、請求や支払い処理のやり方を相談し、対応、解決に向けて進めました。

（３）基金の管理と運用

経常外収支については、基金・積立金の性質と事業計画との調整を図りながら、有効的な運用ができるように管理をしました。また、基金と積立金の運用についても元本保証を前提としながら、利息収入等が増加する運用を行いました。

（資金運用会議）

開催日：6 月 7 日（金）、令和 7 年 1 月 23 日（木）、2 月 25 日（火）、
3 月 28 日（金）

・第 256 回共同発行市場公募地方債の購入　100,000,000 円

（４）定額減税への対応

令和 6 年度税制改正に伴い、令和 6 年分所得税について定額減税を適用させるよう対応しました。

（５）寄付金の取扱い

現金 22 件（523,893 円）（R5：22 件、1,141,763 円）

物品 50 件（内訳：企業・団体 20 件、個人 30 件）（R5：42 件）

主な物品　食品、介護用品、タオル、玩具等

＊寄付金の使途が指定された寄付金については受領時に確認しました。

5　労務・人事管理

（１）社会保険労務士との業務委託

契約先：宮澤啓子社会保険労務士事務所

契約額：月額　34,650 円

・本会で業務委託をしている社会保険労務士に相談し、法令違反とならない体制づくりを進めてきました。疑義が生じた点などについても、随時、社会保険労務士と相談をし、解決に向けて取り組みました。

・人事評価の実施

職員が職務を遂行するにあたり、発揮した能力を公平に評価することにより職員の執務能率及び意欲を増進させるとともに、公平な人事を確立することを目的とし、人事評価を進めました。

・令和 6 年 10 月 1 日より特定適用事業所に該当したため、短時間労働者に対する健康保険・厚生年金保険の適応拡大を行いました。

（２）ストレスチェック導入に向けて、検討しました。

（３）業務負担軽減のため、勤怠管理システムの検討をしました。

6　賃金の見直し

（1）県内の事業所で働く全ての労働者に適用される「長野県最低賃金」が、令和6年10月1日から時間額998円に改正されたため、本会も改正しました。

（2）処遇改善加算制度の改定により、契約職員の処遇の見直しを行い、賃金の増額改定を行いました。

7　職員採用

（1）令和6年10月に正規職員（中途採用）を採用するため、募集を行いました。

応募者　なし

（2）令和7年4月に新規正規職員を採用するため、職員採用試験を行いました。

第1次試験　9月22日（日）

第2次試験　11月14日（木）

4月1日付け　　4名採用

（3）ハローワークなどを利用し、随時契約職員の募集を行いました。

8　職員研修

【第1回】10月3日（木）協会けんぽの講習会

朝日生命、株式会社ワイドビュー・ヘルスによる「健康増進イベント」

【第2回】11月8日（金）長野県内社会福祉協議会ハラスメント防止研修

【その他研修】

・令和6年度社会福祉法人会計実務講座（初級コース）
・令和6年度福祉職員生涯研修（中堅職員課程）
・人口減少社会における社協経営検討会
・中期経営計画策定セミナー
・令和6年度社会福祉法人の経営分析基礎研修
・令和6年能登半島地震災害ボランティア活動報告会

9　防災訓練

佐久市総合防災訓練に参加し、発災直後の組織体制の構築と職員への連絡及び安否を確認するとともに、「災害ボランティアセンターマニュアル」と「災害時職員初動対応マニュアル」の確認、マニュアルに沿ったセンター開設・運営の役割を実践により、再確認しました。また、事業所職員は、BCP作成についても確認を行いました。

日時：6月29日（土）

場所：あいとぴあ臼田

参加者：職員21名

１０ 相談援助実習生の受け入れ （学校名・受入人数・期間）

・佐久大学４年生　１名　８月 13 日（火）～9 月 13 日（金）
・佐久大学３年生　１名　８月 13 日（火）～9 月 13 日（金）
・佐久大学１年生（ヒューマンケア基礎実習）38 名　12 月３日（火）
・佐久大学２年生　２名　令和７年２月３日（月）～2 月 14 日（金）
（実習内容）本会の介護保険事業所、地域福祉係、各支所等で研修を行いました。

１１　職員の健康管理

（１）職員の健康診断を実施しました。
（２）特定保健指導に該当する職員に保健指導の利用を促しました。
（３）協会けんぽが行う「健康づくりチャレンジ宣言事業所」にエントリーしました。

１２　職員互助会

（１）役員会の開催　５月 29 日（水）13 時 30 分～
（２）定期総会の開催（書面により開催）

１３　佐久ブロック社協市町村事務局の活動（幹事社協：佐久市社協）

県社協を中心に佐久市、小諸市、南・北佐久郡の町村の社協で組織されており、近隣社協での情報共有や連携を目的としています。

（事務局連絡会議）
日時：6 月 27 日（木）14 時 00 分～
場所：あいとぴあ臼田
内容：令和５年度佐久ブロック社協事業報告について
令和５年度佐久ブロック社協会計決算について
令和６年度佐久ブロック社協事業計画（案）について
令和６年度佐久ブロック社協会計予算（案）について
県社協等の事業について　他

（事業内容）
・長野県総合防災訓練（主体：小諸市社会福祉協議会）
日時：10 月 20 日（日）
場所：小諸市武道館
内容：災害ボランティアセンター立上げ訓練
・第 40 回佐久地区ボランティア・地域活動フォーラム
（令和６年度実施社協:川上村社会福祉協議会）
日時：11 月 29 日（金）13 時 00 分～15 時 30 分
場所：川上村文化センター　うぐいすホール

内容：災害ボランティア経験者とパネルディスカッション（能登半島地震 等）
長野県社協まちづくりボランティアセンター　山﨑博之氏　他

１４　DSAT（長野県内社協災害初動時における先遣チーム）

DSAT に登録している職員１名を派遣しました。
期間：6 月 24 日（月）～6 月 30 日（日）
派遣先：能登町災害ボランティアセンター（能登町社会福祉協議会）
活動内容：災害ボランティアセンターの周知、ニーズ調査のための各戸訪問、
現地調査、ボランティア派遣業務

部会委員会

・理事・評議員・監事・評議員選任・解任委員の役割や位置づけについて、社会福祉法を遵守し会務の運営を行いました。
・各種法律の改正に合わせるとともに、適切でスムーズな運営のため、定款をはじめとする諸規程の改正を行いました。

1　理事会

【第 1 回理事会（書面議決）】
決議があったとみなされた日　4 月 5 日（金）
議案第 1 号　第 1 回評議員会の開催について
【第 2 回理事会（書面議決）】
決議があったとみなされた日　5 月 2 日（木）
議案第 2 号　評議員選任・解任委員の選出について
議案第 3 号　理事補欠選任のための第 2 回評議員会の開催について
議案第 4 号　評議員補欠選任候補者の推薦について
【第 3 回理事会】
日時：5 月 30 日（木）13 時 28 分～14 時 39 分
場所：あいとぴあ臼田　ホール
出席理事 9 名、欠席理事 2 名、出席監事 1 名、欠席監事 1 名
議案第 5 号　令和 5 年度事業報告について
議案第 6 号　令和 5 年度一般会計決算について
議案第 7 号　令和 6 年度一般会計補正予算（第 1 号）について
議案第 8 号　令和 6 年度定時評議員会の開催について
【第 4 回理事会（書面議決）】
決議があったとみなされた日　9 月 17 日（火）
議案第 9 号　契約職員就業規則の一部を改正する規則の制定について
議案第 10 号　職員就業規則の一部を改正する規則の制定について
【第 5 回理事会】
日時：12 月 16 日（月）15 時 00 分～15 時 42 分
場所：あいとぴあ臼田　ホール
出席理事 7 名、欠席理事 4 名、出席監事 1 名、欠席監事 1 名
議案第 11 号　定款の一部を改正する定款の制定について
議案第 12 号　理事及び監事の選任規程の一部を改正する規程の制定について
議案第 13 号　評議員選任規程の一部を改正する規程の制定について
議案第 14 号　定款細則の一部を改正する細則の制定について
議案第 15 号　処務規程の一部を改正する規程の制定について

議案第 16 号　令和 6 年度一般会計補正予算（第 2 号）について
議案第 17 号　第 3 回評議員会の開催について
【第 6 回理事会】
日時：令和 7 年 3 月 13 日（木）9 時 57 分～11 時 16 分
場所：あいとぴあ臼田　ホール
出席理事 8 名、欠席理事 3 名、出席監事 1 名、欠席監事 1 名
議案第 18 号　定款の一部を改正する定款の制定について
議案第 19 号　組織規程の一部を改正する規程の制定について
議案第 20 号　公印管理要綱の一部を改正する要綱の制定について
議案第 21 号　経理規程の一部を改正する規程の制定について
議案第 22 号　評議員選任・解任委員の選任について
議案第 23 号　令和 6 年度一般会計補正予算（第 3 号）について
議案第 24 号　令和 7 年度事業計画について
議案第 25 号　令和 7 年度会計当初予算について
議案第 26 号　令和 6 年度第 4 回評議員会の開催について

2　評議員会

【第 1 回評議員会（書面議決）】
決議があったとみなされた日　4 月 15 日（月）
議案第 1 号　監事の選任について
【第 2 回評議員会（書面議決）】
決議があったとみなされた日　5 月 14 日（火）
議案第 2 号　理事の補欠選任について
【定時評議員会】
日時：6 月 21 日（金）9 時 30 分～10 時 52 分
場所：あいとぴあ臼田　ホール
出席評議員 12 名、欠席評議員 3 名、出席理事（会長）1 名、出席監事 1 名
議案第 3 号　令和 5 年度事業報告について
議案第 4 号　令和 5 年度一般会計決算について
議案第 5 号　令和 6 年度一般会計補正予算（第 1 号）について
【第 3 回評議員会（書面議決）】
日時：12 月 24 日（火）13 時 27 分～13 時 57 分
場所：あいとぴあ臼田　ホール
出席評議員 14 名、欠席評議員 1 名、出席理事（副会長）1 名、
出席監事　1 名
議案第 6 号　定款の一部を改正する定款の制定について
議案第 7 号　理事及び監事の選任規程の一部を改正する規程の制定について
議案第 8 号　評議員選任規程の一部を改正する規程の制定について

議案第 9 号　定款細則の一部を改正する細則の制定について
議案第 10 号　令和 6 年度一般会計補正予算（第 2 号）について
【第 4 回評議員会】
日時：令和 7 年 3 月 25 日（火）13 時 36 分～14 時 49 分
場所：あいとぴあ臼田　ホール
出席評議員 10 名、出席理事（会長）1 名、出席監事　1 名
議案第 11 号　定款の一部を改正する定款の制定について
議案第 12 号　令和 6 年度一般会計補正予算（第 3 号）について
議案第 13 号　令和 7 年度事業計画について
議案第 14 号　令和 7 年度一般会計当初予算について

3　他社会福祉協議会への役職員視察研修

日時：8 月 27 日（火）9 時 00 分～14 時 00 分
場所：上田市社会福祉協議会
対象：理事、評議員、職員
出席者：17 名（R5　社協運営施設見学会:8 名）

4　評議員選任・解任委員会

【第 1 回評議員選任・解任委員会（書面議決）】
決議があったとみなされた日　5 月 8 日（水）
議案第 1 号　評議員選任・解任委員会委員長及び副委員長の選出について
議案第 2 号　評議員補欠選任候補者の決定について

5　事業及び会計の監査

【令和 5 年度監査】
日時：5 月 22 日（水）13 時 30 分～17 時 00 分
場所：あいとぴあ臼田　多目的室 3.4 号
出席監事 2 名
内容：(1) 令和 5 年度業務執行状況
(2) 令和 5 年度決算財産状況
【令和 6 年度中間監査】
日時：11 月 20 日（水）9 時 00 分～12 時 00 分
場所：あいとぴあ臼田　多目的室 3.4 号
出席監事 2 名
内容：(1) 令和 6 年度上半期（4 月～9 月）事業報告
(2) 令和 6 年度上半期（4 月～9 月）会計報告

社協会費活動

・地域住民の参加・協力・支持を基盤に福祉サービスを展開していくため、会員（会費）の募集を行いました。

・ご協力いただく会費が年々減少傾向にありますが、貴重な自主財源であるため、社協報「ぴーぷる」や社協ホームページなどに、会費の活用方法などについて掲載し、市民の皆様に広くご協力いただき、支えていただけるよう募集を呼びかけました。

（社会福祉協議会会員募集説明会の開催　2 会場で開催）

日時：6 月 18 日（火）18 時 00 分～18 時 50 分

場所：佐久市市民創錬センター

対象者：浅間地区・中込地区・東地区の赤十字奉仕団分団長

日時：6 月 21 日（金）18 時 00 分～19 時 10 分

場所：あいとぴあ臼田

対象者：野沢地区・臼田地区赤十字奉仕団分団長

令和 6 年度会費額　20,200,911 円　　会員数　20,971 名

（R5:会費額　　20,637,608 円　　会員数　21,302 名）

啓発宣伝

1　社協ホームページ等の活用

パソコンやスマートフォンの普及により、本会事業の情報発信のための重要なツールとなっていることから、情報の更新を頻繁に行い、分かりやすく、見やすいホームページとなるように構成や更新を行いました。

・ホームページアクセス数（セッション数）　29,889 件（R5：30,536 件）

・Ｘフォロワー　1,150 人（R5：1,101 人）

・インスタグラムフォロワー　536 人（R5：391 人）

・LINE お友達　109 人（R5：60 人）

2　社協報広報「ぴーぷる」

・本会事業を広く市民に周知するために、社協広報誌「ぴーぷる」を奇数月に発行しています。年間の掲載計画を作成し、社協編集委員による掲載内容の検討を行い、各事業等を効果的に PR できるよう、計画的に進めました。

・令和 6 年 7 月号より、フルカラーの 4 ページとしました。

（発行月）年 6 回

5 月、7 月、9 月、11 月、1 月、3 月

（編集委員会の開催）年 6 回

4 月 26 日（金）、7 月 4 日（木）、9 月 5 日（木）、

10 月 31 日（木）、令和 7 年 1 月 9 日（木）、2 月 28 日（金）

3　紙の門松

12 月初旬に 1 世帯 2 枚を目安に各戸へ配布しました。

・作成枚数　71,500 枚（R5:71,500 枚）

地域福祉部門（ボランティア活動の推進）

ボランティアセンター活動事業（ボランティア活動の充実）

ボランティアコーディネーターを配置し、ボランティアセンターを充実させ、ボランティアグループの連絡調整などを通じて、福祉意識の高揚等に努めました。

１　ボランティアの育成

ボランティアの相談、斡旋、登録等を行うとともに、ボランティアの育成とボランティア保険の加入手続きを行いました。

（１）登録ボランティアの状況

ボランティア団体数：　95 団体（R5:78 団体）

ボランティア登録者数：2,436 名（内 34 名個人登録）（R5:2,121 名）

２　地域福祉講座

一人ひとりがしあわせに暮らしていけるよう、自分自身を大切にするだけでなく、互いに支え合うことの大切さを学ぶことを目的に開催しました。参加者からは、「学びたい内容について情報収集することができました。」と感想がありました。

日時：令和 7 年 2 月 1 日（土）14 時 00 分～16 時 00 分

場所：佐久市福祉総合センター

内容：「生活困窮・ひきこもり・孤立孤独の人・子ども若者…誰も取り残さない地域づくりへ！～ボランティア・市民の力で地域は変わる～」

受講者数：34 名（R5:54 名）

３　さーくちゃんち（家）でごはんを食べよう

食育などを通じて、地域の人々の「支え愛」「助け愛」の輪を広げることを目的に、世代や属性を問わず、参加した誰もが元気、笑顔になれるよう交流しました。また、令和 6 年度から、望月地区も開催しました。

実施回数：39 回（佐久 12 回 、臼田 12 回 浅科 6 回、望月 9 回）

（R5:22 回　佐久 10 回、臼田 9 回、浅科 3 回）

実施内容：食料支援、お弁当の配布、食事提供、
お菓子のつかみ取り、ボランティアによる演奏他

４　災害ボランティア講座

市民自らが防災意識を高めて知識を習得することで、もしもの災害に備えることを目的に開催しました。

日時：6 月 15 日（土）13 時 30 分～15 時 30 分

場所：あいとぴあ臼田　ホール
講師：一般社団法人ピースポート災害支援センター
内容：災害ボランティア入門・基礎講座
受講者数：15 名（R5：20 名）

5　育児・介護“助っ人”養成講座

ファミリーサポート事業と介護“助っ人”事業を実施するために、支援会員を養成しました。

日時：10 月 11 日（金）
時間：13 時 30 分～16 時 50 分
場所：佐久市福祉総合センター
講師：佐久市浅科デイサービスセンター職員
　　日本赤十字社　茂木徳子氏
内容：介護支援「車いす体験・高齢者との関わり方」
　　育児支援「子どもに多い事故とその対策」
　　「乳幼児・子どもの AED 使用方法と心配蘇生法」
受講者：28 名（R5:16 名）

6　安心コール事業

希望する 70 歳以上のひとり暮らし高齢者等に、ボランティアが電話による安否確認を行いました。コールの頻度は、登録者の希望に合わせ、登録者と複数回にわたって連絡がつかない場合は、関係機関に情報を繋ぎました。

実施日数: 141 日（R5:158 日）
登録者: 48 名（内訳：佐久 26 名　臼田 10 名　浅科 4 名　望月 8 名）
　　（R5:59 名　内訳：佐久 33 名　臼田 11 名　浅科 5 名　望月 10 名）
延コール回数 :1,137 回（R5:1.647 回）
ボランティア延活動人数：132 名（R5:158 名）

7　お元気レター事業

ボランティアが描いた絵手紙を、希望する 70 歳以上のひとり暮らし高齢者等に郵送し、その絵手紙を通して高齢者の孤独感を解消し、安心した生活を送るため事業を実施しました。

実施日数: 32 日
登録者:477 名（内訳：佐久 312 名　臼田 66 名　浅科 28 名　望月 71 名）
　　（R5:512 名　内訳：佐久 351 名　臼田 71 名　浅科 25 名　望月 65 名）
ボランティア数：83 名（R5:80 名）

地域福祉部門・相談支援部門（各種相談体制の充実）

1　生活福祉資金貸付事業　＜県社協受託事業＞

低所得世帯や障がい者・高齢者世帯などに対し、経済的自立と生活意欲の助長、在宅福祉や社会参加の促進を図り、安定した生活を送るための資金貸付及び償還指導を行いました。（貸付の審査決定は長野県社会福祉協議会が実施）

貸付件数：9 件（R5:16 件）

貸付内訳：福祉資金 8 件、教育支援資金 1 件

2　緊急小口資金等特例貸付実施後の相談支援体制強化事業

＜県社協補助事業＞

償還指導については長野県社会福祉協議会が実施する中で、借受者の生活状況を把握するため、3 ヶ月以上滞納している 86 世帯のうち、住所不明、市外転居、まいさぽ支援者を除く 39 世帯へ架電を行い、連絡がつかなかった 20 世帯に対し自宅訪問を行いました。

架電：連絡がついた 19 件のうち、18 件が就労中で 1 件は失業中。

訪問：面会：1 件

留守　　（生活状況の把握のため案内文を投函）：7 件

留守　　（表札等なく確認が取れないため案内文なし）：6 件

空き家、転居（県社協が住所地を調査し対応）：6 件

3　日常生活自立支援事業　＜県社協受託事業＞

長野県社会福祉協議会の委託を受け、佐久市・南佐久管内の基幹的社協として、判断能力に不安がある認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者等に対し、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理等を支援しました。

有効契約件数：認知症高齢者：13 件（R5:10 件）

知的障がい者：　8 件（R5:6 件）

精神障がい者：18 件（R5:22 件）

その他　　：　1 件（R5:1 件）　　計　40 件（R5:39 件）

生活支援員、専門員の利用援助回数　813 回（R5:914 件）

4　生活困窮者自立支援事業　＜市受託事業＞「まいさぽ佐久市」

生活困窮者自立支援法に基づき、市内に居住する生活困窮者などが困窮状態から早期に脱却するため、支援対象者の自立と尊厳を確保しつつその状況に応じて包括的かつ継続的な相談支援を実施するとともに、地域における早期把握のためのネットワークを構築し、支援対象者の自立、就労支援の促進を図ることを目的に実施しました。

新規相談受付件数　　255 件（R5:229 件）
就労等プラン作成件数　45 件（R5:34 件）
一般就労者数　　25 名（R5:16 名）

5　家計改善支援事業　＜市受託事業＞

生活困窮者に対し、家計の状況を「見える化」し、利用者の家計管理の意欲を引き出す改善相談を行い、生活の早期再生を図れるよう支援しました。

利用者からの相談延べ件数　205 件（R5:392 件）
新規相談件数　　12 件（R5:7 件）

6　さく成年後見支援センター運営事業　＜広域連合受託事業＞

佐久広域連合から成年後見支援事業を受託し、制度に関わる相談業務と利用促進及び普及啓発を実施しました。一定の要件を満たした方の法人後見を受任しました。

（1）法人後見受任件数　57 件（R5:46 件）
（2）相談等件数
　新規相談数：131 件（R5:127 件）
　新規受任数：　17 件（R5:18 件）
　辞任等件数：　 6 件（R5:6 件）
（3）佐久圏域成年後見中核機関連絡会
　日時：令和 7 年 2 月 18 日（火）
　講師：弁護士　山田啓顕氏
　出席者：34 名（R5:23 件）
（4）佐久地域福祉関係職員成年後見制度研修会
　日時：11 月 27 日（水）
　講師：司法書士　山際隆浩氏
　出席者数：76 名（R5:52 名）
（5）普及啓発出前講座・イベント参加　4 回（R5:5 回）
（6）法人後見受任審査会　6 回（R5:5 回）

7　結婚相談事業・婚活イベント

結婚を希望している出逢いの少ない方を対象に、出逢いの場を提供しました。

相談所開設：月 2 回 日曜日に開催（内、隔月で平日の夜間）
相談員数　：6 名
延相談件数：105 件（男性 78 件　女性 27 件）
　　（R5:86 件　男性 67 件　女性　19 件）
登録者　　：83 名（R5:79 名）
見合い件数：15 件（R5:6 件）

成婚件数　：2 組（R5:1 組）

（女性応援キャンペーンの実施）

女性登録者数の減少のため、登録料の 2,000 円（2 年間）を期間限定で無料としました。

期間：8 月 1 日～12 月 27 日まで　女性 12 名登録

（婚活イベントの開催）

出逢いの機会を提供するため、イベントを開催しました。

日時：7 月 28 日（日）11 時 00 分～14 時 00 分

場所：佐久市老人福祉センター「長寿閣」中庭

内容：「男女 1 対 1 の自己紹介」「BBQ をしながらフリートーク」等

参加数：10 名（男 5 名　女 5 名）

地域福祉部門（地域福祉活動の推進）

1　ふれあいいきいきサロン事業（世話人交流会事業含む）

高齢者等の孤立化・閉じこもり・認知症の予防のために各地で開催されるサロンに対し、助成金を交付しました。また、サロン実施における開催内容の相談、講師紹介等を行うとともに、市及び地域包括支援センター等の関係機関と連携し、未開催地区の立ち上げを図り、市内全地区の開催を目指して周知を行いました。

（実施地区）

・佐　久　67 地区　延参加者：5,353 名（R5:57 地区　3,939 名）
・臼　田　14 地区　延参加者：1,180 名（R5:12 地区　　802 名）
・浅　科　　7 地区　延参加者：1,574 名（R5:7 地区　　1,336 名）
・望　月　　9 地区　延参加者：　696 名（R5:6 地区　　325 名）
合計：97 地区　総延参加者：8,803 名（R5:82 地区　6,402 名）

（新規立ち上げサロン数）1 区　大和町区（R5:1 区）

（開催場所）

各地区公民館、佐久市老人福祉センター長寿閣、佐久市望月老人福祉センター

（主なサロン活動内容）

体操、健康講話、交流会、お茶会、佐久市内施設の見学など

（ふれあいいきサロン体験会）

区長、民生児童委員、世話人等を対象に、サロン事業の立ち上げ、再開のきっかけづくりとして開催しました。

日時：6 月 7 日（金）13 時 30 分～16 時 00 分
場所：あいとぴあ臼田　ホール・交流室 1～3
内容：社協、市役所がサロンでできることの紹介、
　　モルック体験、サロンを企画してみよう
出席者数：49 名（R5：81 名　2 会場で開催）

（ふれあいいきいきサロン世話人交流会事業）

世話人等を対象に、資質向上と世話人同士の情報交換として、開催しました。

日時：令和 7 年 2 月 5 日（水）13 時 00 分～15 時 00 分
場所：あいとぴあ臼田
内容：地域包括支援センターの役割、事例発表（2 地区）、チャレンジ号体験、
　　交流会
出席者数：37 名（R5：71 名　2 会場で開催）

２　ファミリーサポート事業「ほっと・ホット」（育児支援）

育児支援が必要な家庭に対し、支援会員が有償で支援しました。本会は、利用会員と支援会員との仲介と調整を行いました。

（１）利用件数及び実活動者数等

登録支援会員　：64 名（R5:78 名）
実活動支援会員：23 名（R5:33 名）
利用登録者数　：21 名（R5:38 名）（一時預かり事業利用者を除く）
延べ利用時間　：725.42 時間（R5:690.55 時間）
主な支援内容　：子どもの見守り、家事援助、沐浴手伝い

（２）乳幼児一時預かり事業

年 10 回　下記日程の他、依頼があった際の預かりを行いました。
日時：6 月 20 日（木）、7 月 18 日（木）、8 月 22 日（木）、9 月 19 日（木）
10 月 17 日（木）、11 月 21 日（木）、12 月 19 日（木）
令和 7 年 1 月 23 日（木）、2 月 20 日（木）、3 月 19 日（水）
：10 時 00 分～12 時 00 分
場所：佐久市福祉総合センター
利用時間：計 186.5 時間（R5：14 時間）
利用人数：9 名（R5:5 名）

３　介護´助っ人´事業（介護支援）

介護支援が必要な家庭に対し、支援会員が有償で支援しました。本会は、利用会員と支援会員との仲介と調整を行いました。

（１）利用件数及び実活動者数等

登録支援会員　：63 名（R5:80 名）
実活動支援会員：19 名（R5:30 名）
利用登録者数　：27 名（R5:28 名）
延べ利用時間　：408.92 時間（R5:318.5 時間）
主な支援内容　：病院の付き添い、掃除、買い物、ゴミ捨て

４　敬老会助成事業（総務課）

広く市民が高齢者の福祉についての関心と理解を深め、地域福祉活動を支える組織の活性化を図ることを目的に、敬老会を実施した区、または区公民館へ、70 歳以上の高齢者に一人当たり 600 円（市 300 円＋本会 300 円）を助成しました。

・当初対象予定者数：26,235 名（R5: 26,089 名）
・申請率：89.4％
・助成金額：14,070,600 円、内社協助成額　7,035,300 円
（R5: 13,576,848 円、R5:内社協助成額　6,788,424 円）

【申請状況】（　）内は昨年度末申請者数

佐久：　15,772 名　（15,565 名）
臼田：　3,732 名　（3,478 名）
浅科：　1,631 名　（1,634 名）
望月：　2,316 名　（2,004 名）
合計：　23,451 名　（22,681 名）

5　佐久市社会福祉大会（総務課：市と共催）

実践発表や記念講演を行うことで、地域福祉への理解を深めていただくとともに、地域福祉活動への参加意欲の醸成を図ることを目的に開催しました。

（表彰審査委員会の開催）会長表彰対象者の審査
日時：9 月 26 日（木）13 時 30 分～
場所：あいとぴあ臼田　多目的室 2
審査委員：8 名

（社会福祉大会の開催）
日時：11 月 30 日（土）14 時 00 分～16 時 45 分
場所：佐久市コスモホール
参加者数：161 人
（１）会長表彰
　　寝たきり高齢者等模範介護者表彰　1 名（R5:2 名）
　　社会福祉功労者（団体）表彰　　3 団体、1 名（R5:1 団体）
（２）感謝状を贈呈して行う表彰　地域福祉の増進　1 名（R5:0 団体）

6　佐久ふれあい広場

障がいの有無、老若男女を問わず、みんなが集い、ともに「出会い・ふれあい・語り合い」の場の提供を目的に開催しました。
日時：10 月 20 日（日）10 時 00 分～13 時 00 分
場所：あいとぴあ臼田
内容：展示・販売・体験・ステージ発表、移動動物園、お菓子のつかみ取り
来場者：450 名（R5:400 名）

7　佐久市地域福祉活動計画策定評価事業

本会では、平成 30 年度に「第三次佐久市地域福祉活動計画」を市とともに策定し、地域の課題解決のため取り組みました。また、佐久市と一体となり、第四次佐久市地域福祉計画・佐久市地域福祉活動計画を令和５年度から令和９年度の５ヵ年計画を策定し、計画に基づき事業を展開しました。

8　フードドライブ事業

家庭や職場で余っている食品を寄付してもらい､｢まいさぽ佐久市｣等を通じて、食糧を必要としている方に配給するほか、「さーくちゃんち（家）でごはんを食べよう」への食糧提供も行いました。

平日受付期間：4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日
協力者延べ数：275 名（R5:240 点）
食品点数　　：4,206 点（R5:3,655 点）
食品提供先　：まいさぽ佐久市、さーくちゃんち（家）でごはんを食べよう
　　緊急的に食料を必要とした方

9　地区社会福祉協議会活動の支援並びに助成事業

地区社会福祉協議会は、地域住民に最も身近な社協として、「地域福祉活動」を支援し、共に支え合う地域づくりのため、市内 7 地区に地区社会福祉協議会を設置し、活動しました。

（1）各地区構成員
　区長、民生児童委員、公民館長、赤十字奉仕団、保健補導員等
（2）助成金
　活動費交付基準：事業割　40,000 円　会員割　30 円/人
（3）事業内容

浅間地区　：役員会、総会　研修会
野沢地区　：役員会、総会　研修会　お楽しみ会
中込地区　：役員会、総会　研修会　お楽しみ会
東地区　　：役員会、総会　研修会
臼田地区　：役員会、総会、研修会、輝き世代のつどい
浅科地区　：役員会、総会、役員研修会、あさしな遊山の会
望月地区　：役員会、総会、お楽しみ会、研修会

１０　希望の旅事業

介護保険サービスを利用していない方、外出する機会の少ない障がいがある方並びにその家族を対象に、社会交流の場を提供し生きがいを高められるよう開催しました。

日時：6 月 28 日（金）7 時 30 分～17 時 30 分
行き先：サントリー天然水白州工場見学、 甲州ほうとう小作、
　　道の駅南きよさと
出席者：21 名（障がい者 15 名・介助者 4 名・職員 2 名）
　　（R5:22 名　障がい者 15 名・介助者 5 名・職員 2 名）

１１　共同募金の募集推進及び配分金の効果的活用（総務課）

（佐久市共同募金委員会）

長野県共同募金会の内部組織として設置し、運営委員会と審査委員会を設けることで募金配分の透明化を図るよう取り組みました。

（１）運営委員会

【第１回運営委員会】

日　時：8 月 29 日（木）14 時 00 分～14 時 50 分

場　所：あいとぴあ臼田　多目的室３・4

出席者：委員７名、監事１名

議案第 1 号　社会福祉法人長野県共同募金委員会佐久市共同募金委員会会則改正について

議案第 2 号　令和 5 年度社会福祉法人長野県共同募金委員会佐久市共同募金委員会事業報告について

議案第 3 号　令和 5 年度社会福祉法人長野県共同募金委員会佐久市共同募金委員会決算報告について

報告事項　　令和 6 年度の目標額設定のための事業審査結果報告について

【第２回運営委員会】

日　時：令和 7 年 1 月（書面開催）

出席者：9 名

議案第 4 号　佐久市共同募金委員会規則の改正について

【第３回運営委員会】

日　時：令和 7 年 3 月 25 日（火）15 時 00 分～15 時 20 分

場　所：あいとぴあ臼田　ホール

出席者：6 名

議案第 5 号　令和 7 年度社会福祉法人長野県共同募金委員会佐久市共同募金委員会事業計画について

議案第 6 号　令和 7 年度社会福祉法人長野県共同募金委員会佐久市共同募金委員会予算について

報告事項　　令和 6 年度法人募金　感謝状贈呈について

令和６年度の結果に基づく令和７年度事業計画への配分額について

（２）審査委員会

【第１回審査委員会】

日　時：7 月 30 日（火）10 時 00 分～11 時 15 分

場　所：あいとぴあ臼田　多目的室３・4

出席委員：6 名

内　容：令和 6 年度の募金募集の目標額設定のための申請事業審査について

【第２回審査委員会】
日　時：令和７年２月 18 日（火）10 時 00 分～10 時 35 分
場　所：あいとぴあ臼田　多目的室５
出席委員：６名
内　容：令和６年度の配分金決算見込みによる再審査について

（３）事業及び会計監査
日　時：５月 23 日（木）
場　所：あいとぴあ臼田　多目的室２
内　容：令和５年度社会福祉法人長野県共同募金会報告
　　令和５年度社会福祉法人長野県共同募金会会計決算
出席監事：２名

（４）安心・安全なまちづくり活動公募配分事業（県共同募金会実施事業）
対象事業：避難所用物品整備事業　申請上限額：200,000 円
令和６年度配分決定：常和区自主防災組織、新子田区、平賀上宿区、
　　岸野地区、北川防災会
令和７年度申請受付：宮代区自主防災会、入沢区、香坂西地区

（５）共同募金の募集期間（10 月～３月）
・区長、赤十字奉仕団等の協力のもと、佐久市内の各世帯に募金をお願いしました。
・法人へのダイレクトメールによるお願いや、学校を訪問し、児童・生徒への募金をお願いしました。
・戸別募金　11,347,679 円（R5: 11,379,073 円）
・法人募金　2,617,000 円（R5:　2,594,000 円）
・学校募金　128,156 円（R5:　80,160 円）
・その他　90,758 円（R5:　154,214 円）
・合計　14,183,593 円（R5：14,207,447 円）

（６）共同募金助成事業（福祉団体助成）
共同募金委員会で決定された共同募金の配分金を、申請のあった福祉団体の行なう事業に交付し、活動を支援しました。

【交付団体】
佐久市シニアクラブ連合会　佐久市赤十字奉仕団　佐久市戦没者遺族会
佐久市保護司会　佐久市身体障害者福祉協会　佐久市手をつなぐ育成会
佐久市更生保護女性会　佐久市精神障がい者家族会　佐久聴覚障害者協会

佐久手話サークル　佐久市保育協会　佐久市保育園保護者会連合会
佐久市食生活改善推進協議会　佐久肢体不自由児(者)父母の会　　14 団体

（７）災害援護金配分申請
火災等で被災された世帯に、災害見舞金等を支給しました。
7 件　80,000 円（R5:4 件　50,000 円）

１２　高齢者緊急時連絡票の配付

70 歳以上のひとり暮らし高齢者等を対象に、第三者が緊急時に家族や関係機関へ速やかに連絡できるように作成した「緊急時連絡票」を、民生児童委員の協力を得て希望者へ配付しました。
配布枚数：1,344 枚（R5　5,228 枚）

１３　ひとり暮らし高齢者等見守り事業　＜市受託事業＞

民生児童委員が、乳酸菌飲料を届けながら、70 歳以上のひとり暮らし高齢者等の安否確認や話し相手などになることで「地域の見守り」を行いました。また、乳酸菌飲料の配付と合わせておたよりを添えました。
実施地区：市内全域
実施回数：4 月～令和 7 年 3 月（月 1 回）
延べ件数：9,885 件（R5:10,869 件）
訪問者　：各地区民生児童委員

１４　佐久圏域みらい福祉創造事業　（休眠預金活用事業）：令和 6 年度のみ事業

休眠預金を活用し、佐久圏域（佐久市、小諸市、南佐久郡、北佐久郡）において新型コロナウイルス、原油価格・物価高騰の影響による要支援世帯へのアウトリーチ・食糧支援、また子ども食堂、イベントの開催、学用品購入等の子育て支援を行いました。

（１）要支援世帯等へのアウトリーチのための食糧配付事業
佐久圏域　190 世帯（佐久市　60 世帯）
（２）子ども食堂実施団体への継続支援事業
佐久圏域　6 団体（佐久市　2 団体）
（３）新規子ども食堂等イベント事業
佐久圏域　6 団体（佐久市　1 団体）
（４）児童・生徒等への学用品支援事業
佐久圏域　22 世帯（佐久市　0 世帯）
（５）社協独自支援事業
佐久圏域　7 社協（佐久市　生活困窮者等支援のための灯油・オムツ等を備蓄）

１５　バリアフリーマップ事業

障がい者や高齢者、乳幼児連れの市民が、安心してまちに出て行動範囲を拡大できるよう、市内の公共施設や商業施設等のバリアフリー情報を社協ホームページで提供しました。

76 か所掲載（R5:76 か所）

地域福祉部門（福祉教育事業の充実）

1　社会福祉普及校事業（福祉体験教室・福祉教材用 DVD 貸出）

児童・生徒・学生が、体験を通して社会福祉の理解と関心を高められるよう、日常生活の中に思いやりの心を育むための活動を行っている小学校、中学校、高等学校、大学等の事業に対し、助成を行いました。

（１）社会福祉普及校指定校

指定校：19 校（R5:21 校）

小学校　9 校（佐久平浅間・中佐都・高瀬・岸野・中込・佐久城山・臼田・浅科・望月）（R5:10 校）

中学校　5 校（野沢・東・臼田・浅科・望月）（R5:6 校）

高等学校　4 校（佐久平総合技術浅間キャンパス・佐久平総合技術臼田キャンパス ・寺小屋高等学院・地球環境高等学校）（R5:4 校）

大学　1 校（佐久大学）（R5:1 校）

助成額　1 校 30,000 円

（２）福祉体験教室開催校

小、中、高校生等を対象に、障がいのある方の講話や車いす、手話、点字体験等を行う福祉体験教室を開催し、福祉に対する理解を深め、思いやりの心を育む学習を行いました。

・体験教室開催校：4 校（R5:6 校）

小学校　：なし（R5:なし）

中学校　：4 校（佐久長聖・野沢・臼田・望月）（R5:5 校）

高等学校：なし（R5:1 校）

体験内容：高齢者疑似体験、車いす体験、アイマスク体験、点字体験、絵手紙教室、高齢者・障がい者との関わり方講座

地域福祉部門（団体事務）

1　日本赤十字社長野県支部佐久市地区

赤十字奉仕団分団長を対象に、日赤活動資金募集活動について説明し、募集活動を実施しました。

日赤活動資金募集活動期間：7 月 1 日（月）～9 月 30 日（月）
目標額　　：13,292,000 円
実績額　　：10,834,995 円　21,615 件
（R5:10,939,536 円　21,780 件）

2　佐久市赤十字奉仕団

赤十字の博愛人道の精神に基づき、明るく住みよい社会を築き上げていくため、地域で奉仕活動を行いました。

（1）赤十字奉仕団長野県支部委員会への参加
期　日　：4 月 19 日（金）
場　所　：日本赤十字社長野県支部
内　容　：事業計画など

（2）地域赤十字奉仕団幹部研修会への参加
期　日　：6 月 19 日（水）
研修先　：あいとぴあ臼田
研修内容：赤十字事業について、奉仕団活動について

（3）地域赤十字奉仕団防災啓発研修会への参加
期　日　：7 月 26 日（金）
研修先　：日本赤十字社長野県支部
研修内容：防災教育事業について、炊き出し訓練について

3　佐久市シニアクラブ連合会

魅力ある活動と広報活動を強化し、社会貢献活動を通して会員の生きがいづくりや、健康づくり活動を支援しました。

（シニアクラブ加入数、会員数等）
単位クラブ数：38 クラブ（佐久 31、臼田 2、浅科 5）
（R5:45 クラブ　佐久 37　臼田 3　浅科 5）
会員：2,340 名（佐久 1,800 名、臼田 70 名、浅科 470 名）
（R5:2,676 名　佐久 1,895 名　臼田 297 名　浅科 484 名）

会員数が年々減少傾向にありますが、会員加入促進を行い、各地区活動を推進しました。

・役員会、正副会長会、各地区の活動開催
マレットゴルフ大会：7 月 22 日（月）
佐久市シニアクラブ大会・芸能発表会：11 月 28 日（木）
・会報発行（年 2 回）

4　佐久市戦没者遺族会

佐久市戦没者遺族会の事務局として、会の会計、会議の調整、県遺族会との連携、大会や追悼式の参加調整、開催等を行いました。

（1）実施事業

幹部会議：5 月 23 日（木）、令和 7 年 1 月 24 日（金）
理事会・評議員会合同会議：6 月 27 日（木）
全国戦没者追悼式：8 月 15 日（木）
第 72 回長野県戦没者遺族大会・追悼式：10 月 25 日(金)～26 日(土)
糸洲の壕改修事業竣工式：令和 7 年 1 月 30 日（木）
佐久市戦没者追悼式・遺族大会：令和 7 年 3 月 14 日（金）

施設管理・運営部門

1　佐久市福祉総合センター（所有施設管理運営事業）

・福祉団体及びボランティアグループに会議室等を無料で開放し、活動の活性化とボランティアの育成を図りました。
　年間施設利用者数　7,556 名（R5:7,362 名）
・自己所有の施設を拠点として利用していただくことで、子育てグループ間の情報交換、協働活動を図り、新たな活動の展開を促しました。
・利用グループ数　813 グループ　（R5:738 グループ）
・主な修繕等　冷暖房機設置（大会議室）、集水桝修繕

2　佐久市老人福祉センター「長寿閣」（老人福祉法 20 条の 7 に基づく施設運営）

・高齢者の憩いの場所や各地区ふれあいいきいきサロンの開催場所の提供
・シニアクラブ活動のための施設供与と育成
・レクリエーション活動の増進と各種講座の開設
　年間施設利用者数　11,208 名（R5:10,784 名）
・入浴施設の提供
【入浴利用料】　　一人 100 円
　年間入浴利用者数　8,029 名（R5:7,654 名）
・主な修繕等　循環ボイラー入替、防火扉改修、女性浴室換気扇修繕

3　佐久市臼田老人福祉センター（老人福祉法 20 条の 7 に基づく施設運営）

・高齢者の憩いの場所や各地区ふれあいいきいきサロンの開催場所の提供
・シニアクラブ活動のための施設供与と育成
・レクリエーション活動の増進と各種講座の開設
　年間施設利用者数　295 名（R5: 235 名）
・主な修繕等　ガラス修繕、網戸張替え、事務室照明器具修繕、自動ドア修繕、
　　調理室引き戸交換修繕

4　佐久市臼田総合福祉センターあいとぴあ臼田
　　（市指定管理事業　令和 2 年度～6 年度）

・基本協定に基づく施設の管理
・地域における総合福祉及びふれあい拠点として、市民の福祉と意識の高揚を図ることを目的に管理運営を行いました。
・入浴施設の提供
【入浴利用料】中学生以上 65 歳未満一人 200 円、65 歳以上一人 100 円
　年間施設利用者数　43,863 名（R5: 49,177 名）
　年間入浴利用者数　8,552 名（R5: 9,313 名）

・主な修繕等
男性・女性風呂シャワー水栓水漏れ修繕、女性用風呂用ろ過装置電動弁交換、男性風呂シャワー水栓交換、敷地内の注意看板作成、女性風呂ろ過器ポンプ交換修繕、ガス警報器交換、デイ一般浴昇温循環配管玉フレキ交換、冷温水循環ポンプ点検整備、ろ過器配管水漏れ修繕、交流室１　畳表替え　等

5　浅科保健センター（市指定管理事業　令和５年度～9 年度）

・基本協定に基づく施設の管理
・市民の健康の保持及び保健衛生の向上に資するための総合的な保健サービスの拠点として管理運営を行いました。
年間施設利用者数　12,007 名（R5:13,157 名）
・主な修繕等
外灯ランプ交換、調理実習室水栓修繕、調理実習室ガス漏れ警報器取替修繕

6　佐久市望月老人福祉センター（市指定管理事業　令和２年度～6 年度）

・基本協定に基づく施設の管理
・地域の高齢者の健康増進、憩いの場として施設の保守管理、利用者の送迎、入浴業務、地域サロンの開催場所として、活用促進しました。
・入浴施設の提供
【入浴利用料】　一人 100 円
年間施設利用者数　6,162 名（R5:5,972 名）
年間入浴利用者数　5,641 名（R5:5,377 名）
・主な修繕等　塩素投入ポンプ取付修繕、温泉管理用バルブ修繕、除雪機修繕

介護保険・障害福祉部門

1　佐久市あいとぴあ臼田デイサービスセンター

（市指定管理事業　令和２年度～6 年度）

高齢者の要介護状態の軽減、若しくは機能低下の防止に資するよう必要な日常生活上の介助及び機能訓練を行い、利用者の社会的孤立感の解消、心身機能の維持並びに家族の身体的、精神的負担の軽減を図りました。令和 4 年 11 月より、基準該当生活介護の受け入れを開始しました。

（１）事業所の取り組み

・地域貢献として、多機能型事業所くれよんのアルミ缶収集に協力しています。

・新聞紙たたみやメモ用紙づくり、編み物、台拭き作りなど、個性と機能を活かした取り組みで意欲の向上を図りました。

・臼田中学校に出向き、福祉体験教室で高齢者について講義を行いました。デイサービスセンターを知る良い機会になりました。

・佐久平総合技術高等学校の実習生を受け入れ、資格取得に向けた支援や中学生の職場体験、ボランティアの受け入れをし、地域の方々との関わりを図りました。

（２）総延べ利用者数　9,092 名

＊一般型利用者延べ人数　7,219 名（R5:7,089 名）

・事業対象者（総合事業）　95 名　・要支援１　39 名　・要支援２　389 名

・要介護１　2,652 名　・要介護２　1,543 名　・要介護３　1,275 名

・要介護４　674 名　・要介護５　552 名

＊認知型利用者延べ人数　1,680 名（R5:1,399 名）

＊基準該当利用者延べ人数　193 名（R5:316 名）

（３）介護保険事業収益　90,299,832 円　（R5:86,124,920 円）

2　佐久市浅科デイサービスセンター（市指定管理事業　令和６年度受託終了）

令和 6 年度末に市の指定管理の受託が終了するのにあたり、利用者の移行がスムーズにいくよう関係機関との連携を図り、令和 7 年 2 月末に全利用者の移行が完了しました。

高齢者の要介護状態の軽減、若しくは機能低下の防止に資するよう必要な日常生活上の介助及び機能訓練を行い、利用者の社会的孤立感の解消、心身機能の維持並びに家族の身体的、精神的負担の軽減を図りました。

（１）事業所の取り組み

・出張理美容サービスは、地域の理美容店のご協力もあり、リピーターも多く、多くの利用者に利用いただきました。また、買い物ができる移動販売車は、買い物に出掛けることができない利用者の生きがいに繋がりました。

・浅科デイサービスセンターの思い出作りとして、様々な創作活動を行い、自分

で作った作品をお持ち帰りいただきました。特に市内の陶芸教室にご協力いただき制作した器は好評でした。

（２）総延べ利用者数　2,333 名

＊地域密着型利用者延べ人数　2,333 名（R5:3,115 名）

・事業対象者（総合事業）14 名　・要支援１　82 名　・要支援２　561 名

・要介護１　405 名　・要介護２　654 名　・要介護３　269 名

・要介護４　155 名　・要介護５　133 名

（３）介護保険事業収益　21,803,525 円　（R5:30,386,717 円）

３　就労継続支援Ｂ型　臼田共同作業センター

（市指定管理事業　令和５年度～9 年度）

（１）事業の成果

製袋、電子部品組立、樹脂部品加工等、ボールペン先のリサイクル作業やデイサービス床清掃の他、県社協等からの研修会場の設営、生活用品の梱包、赤い羽根加工作業、労働金庫のチラシ等封入等の短期作業を行い、利用者に対して継続的に作業を提供できる体制を整えました。地域のニーズに応じて、看護学校や養護学校の実習生の受け入れと、中学校の福祉体験、職場体験の受け入れを実施しました。

（２）支援及び相談

相談支援専門員や他関係機関と連携し、障害者雇用で就労者を 2 名、通所することで就労準備ができ退所された利用者を 1 名出すことができ、就労を強化することができました。また、利用者に対して、定期的なモニタリングや面談により個別支援計画を作成することで適切な支援を目指しました。

開所日数　243 日（ R5 :243 日 ）

延べ通所利用者数　4,196 名（ R5 :4,325 名 ）

一日平均利用実績　17.2 名（ R5 :17.7 名 ）

報酬額　34,562,370 円（ R5 :31,960,570 円 ）

（３）生産活動

鈴与マタイ製袋作業、H・A 電子部品作業、伊孝樹脂部品加工作業、デイサービスの床清掃作業、リブートのリサイクル作業を継続して行いました。

自主製品の製作と、一時的な短期作業も取り入れています。

生産活動による収入　3,996,314 円　（ R5 :3,779,368 円）

平均工賃月額　18,059 円（ R5 :17,338 円）

（４）販売活動

バルーンフェスティバル、佐久総合病院、医療センター、ふれあい広場、福祉展、ナイスハートバザール等のイベント販売に参加し、地域の方との交流や、新しい自主製品作りにも取り組み販売することができました。

（５）視察研修　９月 13 日（金）

希望者のみではありますが、感染症と熱中症対策をとり、松本市内でぶどう作りからのワイン販売、オリジナル衣類・小物販売等を行っている開所５年目の就労継続支援 B 型事業所の見学を行いました。クラウドファンディングや地域との交流を深め新しい福祉のかたちをつくり、利用者の就労に対する自信や働き方を提供する現場を視察し職員の意識を高めることができました。また、利用者が集団行動を通し公共のルールやマナーの再確認と、利用者同士のコミュニケーションや気分転換をすることができました。他作業所を見学することで様々な作業があることや、違いを体験する機会となりました。

４　就労継続支援 B 型　浅科ふれあいホーム

（市指定管理事業　令和 5 年度～9 年度）

（１）事業の成果

主な作業として製袋・電子部品組立・部品加工・プラスチック製品検品、組立・菓子箱折り、ボールペン先のリサイクル作業、保健センターの清掃作業以外に一時的な作業ではあるが、生活用品の梱包や敬老祝い贈答品の製作、赤い羽根加工作業を実施し、利用者に対して継続的に作業を提供できる体制づくりに努めました。養護学校の実習生の受け入れと、中学校の福祉体験、職場体験の受け入れを実施し、教育機関のニーズに対応できました。

（２）支援及び相談

相談支援専門員や他関係機関と連携し、個々の目的に合わせた支援の相談・利用時間・回数の調整を行っていますが、体調不良などの理由で長期にわたって欠席される方もおり、前年度と比べて報酬額の若干の上乗せ分はあるものの、1 日平均並びに延べ利用者の減少がみられます。

開所日数　243 日（R5:243 日）
延べ通所利用者数　4,016 名（R5:4,339 名）
一日平均利用実績　16.5 名（R5:18.1 名）
報酬額　34,232,180 円（R5:33,507,140 円）

（３）生産活動

鈴与マタイ製袋作業、H・A 電子部品作業、（株）エンプラのプラスチック組立作業、(有)チクマの鞄部品組立作業、(株)NAC の菓子箱折り、(株)ブルボンの菓子箱折り、浅科保健センターの床清掃作業、リブートのリサイクル作業を継続して行った。また、自主製品の製作にも取り組んでいます。

農園ボランティアの協力を得て野菜作りを行い、収穫野菜を通所者や地域の方へ販売することができましたが、ボランティアの高年齢化に伴い、野菜作りの継続は難しい状況となっています。

生産活動による収入　4,387,679 円（R5:4,581,441 円）

平均工賃月額　20,649 円（R5:22,797 円）

（４）販売・イベント等参加状況

バルーンフェスティバル、佐久総合病院、医療センター、ふれあい広場、福祉展・ナイスハートバザール等のイベント販売に参加して、地域の方々や他機関との交流を図ることができました。本会本所、支所に展示することで、地域の方へ販売も出来ています。

5　佐久市社協特定相談支援事業所

障がいのある方が、自立した日常生活、社会生活を営むことができるよう、 サービス等利用計画の作成及び関係機関との連絡調整を行いました。

延べ利用者数　　1,448 名　　（R5:1,366 名）

請求件数　　505 件　　（R5:517 件）

障害福祉サービス等事業収益　　6,719,980 円（R5：6,285,280 円）

6　佐久市社協多機能型事業所くれよん

（生活介護）

生活介護は、18 歳以上の障がい者に、創作的活動または生産活動の機会を提供しながら生活能力の維持向上を図りました。

延べ利用者数　2,443 名（R5：2,458 名）

障害福祉サービス等事業収益　21,471,980 円（R5：22,926,050 円）

（放課後等デイサービス）

放課後等デイサービスは、6 歳から 18 歳の障がいのある子どもや発達に特性のある子どもをサポートしながら必要な療育を行いました。

延べ利用者数　1,802 名（R5：1,413 名）

障害福祉サービス等事業収益　15,183,971 円（R5：12,116,520 円）